

江戸名所花曆

秋

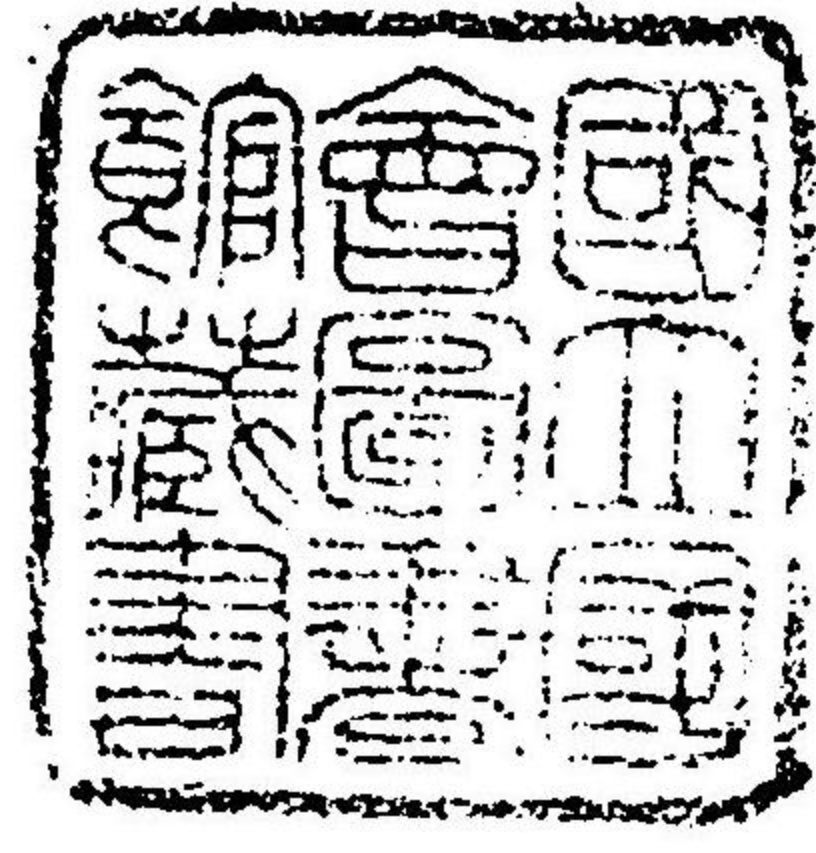
印
行
所
名
所

385.8

0549e

W

385.8³
0549e



223739

江戸名所花曆卷之三

秋之部目次

- 牽牛花あさあざな
- 七月草しちがつくさ
- 萩花あきこぎ
- 紅葉あきばやし
- 月つき
- 蟲むし
- 菊花きく

江戸名所花曆卷之三

三

江戸遊覧花暦卷之三

江戸 岡山島 編輯



○牽牛花

下谷御徒町辺 朝貞之往古より胎賞と云ふも

異花奇葉の出またり文化丙寅の災後小谷辺空地
の多くありけり木植本を製りて種々異花の花
を咲せりありひるまの交政とある以て小谷海茶源川
辺にても専らけり朝貞を製りて種々異花の花

○七草

百花園 向一由花中へた秋葉の中にも七草の類

愛親とて社園中より七草を採りて

あつてよれた石とぬきを掃くを掃くは此處の春秋さうもぬ
 源河さ池の傍ぬ菴りのり目と下とととにり坐
 とうとゆゑ小風流の人とあつて和交連あふの全を催す

○月

三流 三流の月とんさく延室天和の頃人々船さく

おなく舟さくよう安宅丸の舟船をおさくれとも

つるようあつてのつるよう隅田川の上の三流あつて

浅草川 隅田川の下流金龍山の麓さりの清水の傍さ

月の輝流きたるあふ浸すくあつても金龍のうらみ

ゆさく船を流し流さるのあり流を減し秋を催すあつて

枝と携り絵巻代催しあつては花具をばくせり

服元喬

金龍山畔江月浮
 江揺月滂金龍流
 扁舟不住天如水
 兩岸秋風下二列

真乳山



五川碑陰記 白河廣瀨典謨

同藩大家桂書

水名玉川天下凡六在武列為其
而水道鑿後問而莫得平井董威考
索舊蹟有年近者認之請我
老公書其古歌一首以勒碑樹之於
多麻郡猪方村而後古蹟依然與貞
石共立世夫微顯闡幽春秋之志董
威其蓋學此乎况
老公之信貽證于後世而有餘也而
以爲表乎

文化十四年丁丑臘月

呂川 此地の高輪の辺より都て海上の見晴し

なれり月のもろもろもよもよも七月廿六夜より
雅俗打交りて月の山の邊りゆきぬさめに與り
月の登りて成りぬるの旅りてとひていささか
此後いささかに月宿あり湯島天神の臺九段坂のう
日暮里諏訪明神の境内其地なるなりとていささ
景標をのりて當夜の第一とん

○奥

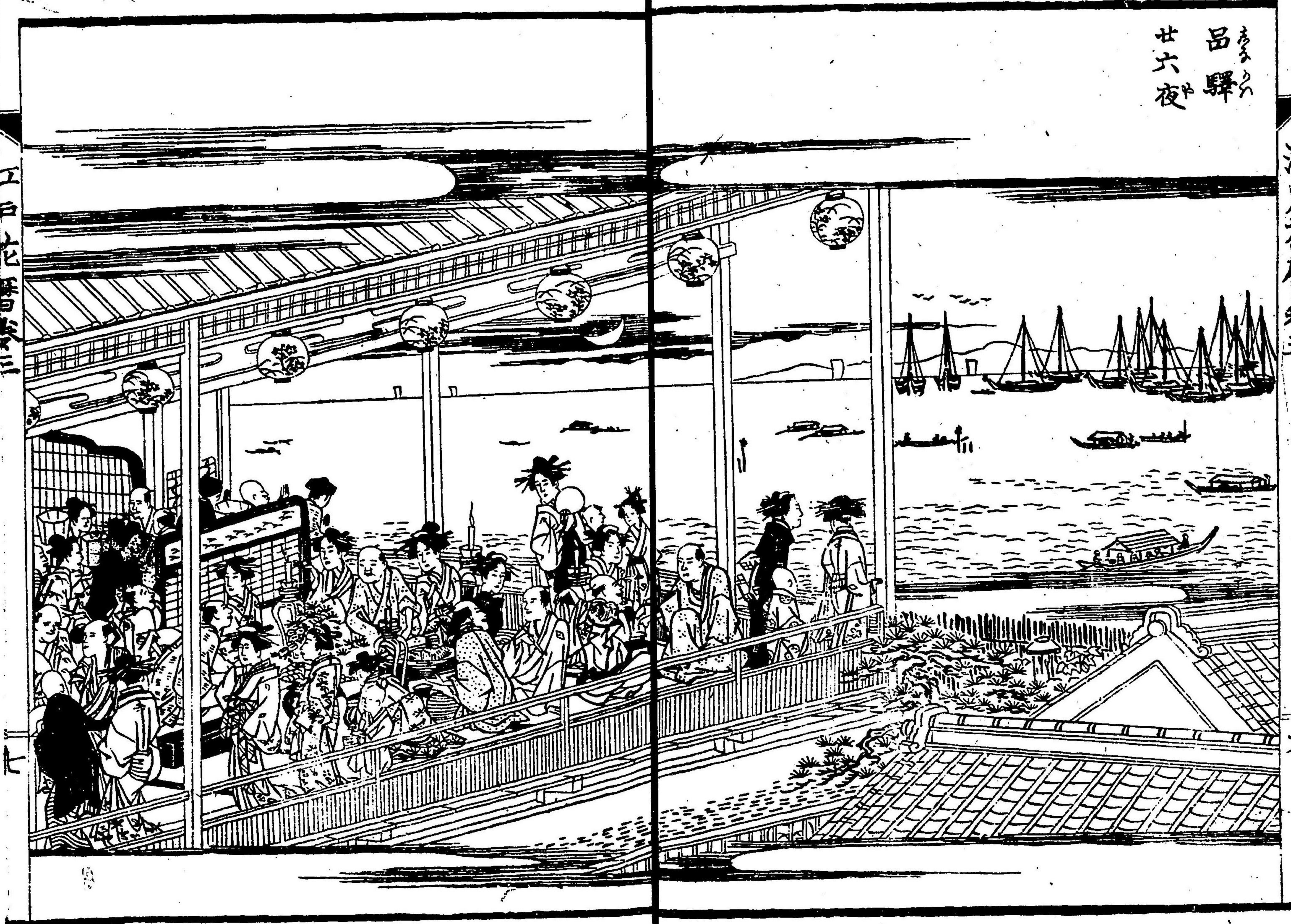
道灌山 日暮より王女の道筋飛鳥山の後なり

むらた田道灌出城の跡ありとていささか
くまの虫のなれりは是もよもよもく冷虫馬進ひ虫

品驛
廿六夜

江戸外傳卷三

江戸外傳卷三



紅葉

真間

真間山弘法寺下徳園葛飾郡江戸より三里

余本堂の前は楓あり高四五丈余たけひるたは木

ありとて手吉奈明神と名階のひくひくありて

さへ後ざりて一人の美女ありて身もろくく身を

うたふありて一人の美女ありて身もろくく身を

官女ももたらん人懸想と女心ひありてひそに

うそぬ人もあらねどもひて霊と神も祭りとせり

あつての山伏おのりて真言宗ありて中山草

創のこたり日蓮上人宗法と論し山伏法毒の奥儀あり

あつて日蓮上人のありて寺は法苑の道場あり

改むとてまの真言の密法と日蓮上人にせり

そのゆゑに當山と中山と法毒の行禱と尊に候

とるがりのことなり

秋葉大権現

向ふゆめあり境内廣く池あり

のどりに茶店貨食あり楓ありありあり

裏門の方よりて教十本あり障りあり

龍野川

流るは清らありて川は曲行あり

とてのちのちの勢ありて川は岩窟のちあり

天と安んじて風景よく金亀ありありあり

ありて西南小山王の社弘法大師の作石比叡権現
 の石手洗池延命氷といふ橋あり両溪橋といふ橋
 中に地の割といふありて建久の末孫里の女房を捨て
 地に坐するを二世古山和尚引導して天上を歩くと
 りぬそのうち崩れ橋の末後貴人の墓所石塔救主
 あり東方に地覆紅葉ふや紅葉西に花のしらば
 美ふ紫菀花のしらば紅葉といふあり山鉢陀
 堂坊舎僧房竹林軒あり佛殿のありて四方八面よ
 遷りける牡丹のり千や牡丹とも八幡殿現の牡丹
 ともいふ惣門の内は頼朝松ありふや松とも松竹堂
 ともいふ門内小天竺白山稲荷の社あり仏殿南に

観音堂と淨殿南に普門閣を建供奉の人衆八十
 二房舎を建るとが弘安五年北條時宗願主
 ありて堂塔造立入佛供養あり月牌ありてはや文
 奇附ありてあり平時頼の石塔あり最明寺願了
 房道崇大禅定門弘長三癸亥年十月廿二日二階堂
 出羽守の石塔ありしり當寺門前の鎌倉街道の
 関所ありて頼朝々々々々小條家よりて執権の中へ
 関所守護ありて大森村小屋形を建て居住せりと
 びてありてある寺の檀那ありと終

葛松山東海寺 當山境内廣くして大樹の楓樹
 数多ありて岡山澤菴和尚の道德ありと終

東海寺
楓樹

江戸名所図会

三

御製

秋の

色小

とや

玉葉也

たゞも

好秋也

とや

綿

とや



江戸名所図会

三

諸道に通達し〜凡くあつ〜とらむ〜とらむ〜とらむ〜とらむ
がらと廟石を大なる石のむられのかく〜とらむ〜とらむ〜とらむ
並〜深文もあるさした是和尚の道言あり〜とらむ〜とらむ
茶道に達し〜一首の歌あり

茶の好め道具のさ〜なりけ茶碗ひ〜のむも〜とらむ〜とらむ
今糺漬の大根を澤彦漬とし〜もら〜の和尚の工丈
〜漬〜めら〜とらむ〜とらむ〜とらむ〜とらむ
八月交代あり大門を歩り新篇のめ〜とらむ〜とらむ
是がら〜 沖成道あり左右並木あり〜とらむ〜とらむ
〜とらむ〜とらむ〜とらむ〜とらむ〜とらむ〜とらむ
隠者〜とらむ〜とらむ〜とらむ〜とらむ〜とらむ〜とらむ

表門あり門外も〜馬ち〜ありり岸木大木の古松有
行者代官等此例よ住宅せ〜又は殿山の下〜とらむ
畠の中道あり〜門ありあれを 沖成は門とらむ
〜とらむ〜とらむ〜とらむ〜とらむ〜とらむ〜とらむ
〜とらむ〜とらむ〜とらむ〜とらむ〜とらむ〜とらむ
〜とらむ〜とらむ〜とらむ〜とらむ〜とらむ〜とらむ
〜とらむ〜とらむ〜とらむ〜とらむ〜とらむ〜とらむ

縣居翁墳墓 塔頭少林院のう〜ろの山〜あり
羽のまに國教智郡伊場材の岡部の新宮の祿宣
定信の二男ざり諱ハ真淵縣居〜とらむ〜とらむ
東江のあり〜古学を〜ひ寛延三年江戸に〜とらむ
〜とらむ〜とらむ〜とらむ〜とらむ〜とらむ〜とらむ
〜とらむ〜とらむ〜とらむ〜とらむ〜とらむ〜とらむ

三年田安とやま安やす召め出でされ宝たから曆か十年致仕ちしし明和六年
 十月晦日きげふ終は七十二ににして身みすうすう取と珠たま院いん真ま淵ふち義ぎ龍りゆう
 居士こしと法号ほふごうと边代へんたい名な譽よの歌うたよよとと世よ大人おとなの徳とくを
 志しすす人ひと妻つま一ひと毎年まいねん九月くがつ晦日きげふのの戸と目め名なたるたる款人くわんじん
 竹林院しんりんいんに集會しゅうかいしし教きょうよよとと向むかととささるるかかとと
 翁おきなののよよとと中ちゆう三さん首しゆ成なり奏そうすす

夏日望山とSerenade

~~~~~  
 古ふるのの邦くに也やももくくれれとと~~~~~  
 古ふるのの邦くに也やももくくれれとと~~~~~  
 古ふるのの邦くに也やももくくれれとと~~~~~

甲かのの花はなとと毎まい日にちおおとと~~~~~  
 古ふる寺てら鐘かね

夏日東海道中望富士山

~~~~~  
 舟ふねのの柁かじ名な菘すをを~~~~~
 同どう黒くろ 恭こう殿てん山さん瀧たき泉いづみ寺てら 岩いわ山さん境さかい内うち楓かえで樹じゆ々々 毎まい月げつ
 廿八日にじゅうはちにちのの不動ふどう尊そんのの縁えん日にちがが~~~~~
 夜やよりより糸いと衣ぎ袴はかま~~~~~

東陽山正燈寺 新泉寺町通寺の~~~~~の名野~~~~~

~~~~~  
 高たか雄ゆうのの苗なえ~~~~~  
 志し~~~~~





